

# キリスト教全般について

## 1. カトリックとプロテスタントって、どう違うの

これについて述べると本を書けますが、目立つところに触れましょう。まず、組織が違います。カトリックはピラミッド型で、頂点はローマ法王です。プロテスタントは組織はさまざまですが、いずれも法王に従っていません。次に目立つのは聖母マリアの事です。プロテスタントはマリアを尊敬しますが、マリア像を飾らないし、マリアに祈りません。カトリックは、時にはマリア宗教と思うほどマリアを重視します。三つ目の分かりやすい違いは、カトリック神父やシスターは結婚できませんが、プロテスタント牧師はできます

## 2. キリストは、何人だったんですか

イエスさま（「キリスト」は肩書きです。意味は「救世主」）はユダヤ人でした

## 3. イスラム教とキリスト教は同じ神さまをあがめていると聞いたことがあります

アラブ語で「神」は「アラー」です。文字で書くと、イスラム教とキリスト教は同じ方を拝んでいるように見えますが、ちょっと探れば違いは著しいです。イスラム教の神は「復讐の神」と言うべき存在ですが、聖書にはっきりと「神は愛です」と書いています。それだけではないですが、根本的に違うと言うべきです。イスラム教からキリスト教に改心したある方はこう言いました。「イスラム教のでは、神さまを「天のお父さま」と呼ぶことはまったく想像できないことです」

## 4. どんなにいい人でも、キリストを信じていない人は地獄に行くんですか

聖書から二つ引用して答えたいと思います。まず、ヨハネの福音書14書6節「イエスは彼に言われた。『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません』」。

もう一つはローマ人への手紙2書12～16節。「律法なしに罪を犯した者はすべて、律法なしに滅び、律法の下にあって罪を犯した者はすべて、律法によってさばかれます。それは、律法を聞く者が神の前に正しいので

はなく、律法を行なう者が正しいと認められるからです。……律法を持たない異邦人が、生まれつきのままで律法の命じる行ないをするばあいは、律法を持たなくても、自分自身が自分に対する律法なのです。彼らはこのようにして、律法の命じる行ないが彼らの心にかかれていたことを示しています。彼らの良心もいっしょになってあかしし、また、彼らの思いは互いに責め合ったり、また、弁明し合ったりしています。…& hellip;私の福音によれば、神のさばきは、神がキリスト・イエスによって人々の隠れたことをさばかれる日に、行なわれるのです」

基本的に、人間は神さまに認められるほどに自分を磨く事ができない。だからこそ、神さまは人間の罪を取り消すために御子イエス・キリストを地上に遣わし、十字架上で死なせたのです。イエス・キリスト以外には救いはありません。しかし、旧約聖書時代の信徒たちも、まだ生まれていなかったイエスさまによって救われたのです。イエスさまの事をまったく聞く機会のない方々は自分の良心によって裁かれます。最終的に神さまに任せなければなりません、こんな質問をするほど自分のことを分かっている人には言い訳はありません、ね

## **5. キリスト教にはどんな種類があるのですか。いろんな名前の教団・教会があり、よくわかりません**

まず、キリストの名前を使っても本当のキリスト教でない三つの団体を紹介しましょう。それはエホバの証人（ものみの塔）、モルモン教、統一協会（世界基督教統一神霊協会）です。彼らはイエス・キリストを歪曲しています。エホバの証人は、イエスさまは神さまではなく被造物であったとします。モルモン教は、イエスさまとサタン（悪魔）は兄弟であり、それ以外にもさまざまに歪曲された教えがあります。統一協会は、文鮮明がキリストであると教えています。

本当のキリスト教は、イエス・キリストは天地創造以前から存在する神さまであり、乙女マリアに宿り、赤ちゃんとしてこの地上に現れたと信じます。従って、イエスさまは神さまでありながら、人間になりました。その両方の立場で、人間の罪の刑罰を十字架上で負いました。そして、3日目に蘇ったのです。それを信じるのがキリスト教です。

そのキリスト教の枠の中に、大きく分けるとカトリックとプロテスタントがあります（ギリシャ正教会、ロシア正教会もありますが、日本ではかなりマイナーな存在です）。プロテスタントの中にはかなり多くの組織、団体があります。それぞれに味、個性がありますが、役割もさまざまです。それは当然でしょう。中心になっているのは、キリストに対する理解、

信仰です

## 6. キリスト教徒以外の人も教会に行ってもよいのですか

もちろん！ キリスト教会は内輪だけのクラブではなくて、一人でも多くの方が加わる事を願う神さまの家族です

## 7. 洗礼って何？ どうすれば洗礼を受けられますか

洗礼は聖書で「バプテスマ」と記されています。ギリシャ語で、「丸洗い」という意味です。聖書の説明によると、バプテスマに二つの大きな意味があります。一つは、今までの罪を悔い改めて、キリストに従う決心の印です。もう一つは、古い自分がキリストと共に水の下に葬られ、キリストと共に蘇るイメージです。バプテスマを受ける資格は単純です。イエス・キリストがあなたの罪のために十字架にかけられ、あなたの刑罰を追って死なれ、あなたの救いのために3日目に蘇ったことを信じる事です

## 8. 牧師になるには？ 神学校ってどんな所

最初に、また最も大事なものは、神さまからの招命と賜物。それがないと全く無理です。神さまからの任命と共に、教会の任命も必要です。その人の賜物や成熟度を見て、「私たちの牧師になって下さい」と言うことが必要です。残念ながら、あこがれなどの理由で牧師になる人もいます。ある教派では、ほとんど学歴のみで牧師の肩書きを与えます。大変な結果になります。学問が悪いと言う訳ではありませんが、それで牧師のよさが決まるわけではありません。初代教会の牧師たちは、ほとんど学校に行っていないでました。現在のようなクリスチャンの神学校は何百年も経ってからできました。

神学校って何でしょう。牧師の使命を感じる人はほとんど、神学校で学びます。神学校に3通りあります。一つは、大学を卒業してから入る、大学院レベルの学校です。もう一つは、普通の大学や短大のように、高校を卒業して入るもの。三つ目は、学歴に関係なく入れるが、その卒業（修了）証書は軽い。もちろん、各学校に神学的な偏りがあるので、選ぶのに苦労することがよくあります。また、特に三つ目の学校には、質にばらつきがあります。